

四月二四日

昼前世田谷村菜園に上る。花咲き乱れていた。イチゴも実っていた。さやえんどうも採れた。夜まで打ち合わせ。聖徳寺霊園計画やはり全部自分ですすめなければ駄目そうだ。夜聖徳寺打ち合わせ西調布へ。

杉並渡辺邸見学体験会沢山の人が集まってくれそうで良かった。ひろしまハウスプランペン・レンガ積みツアーの申し込みも順調なようだ。インターネットは情報の流れを変えつつある。次女友美カルマンギアー2シートの真赤なスポーツカーを何処からか入手してしまった。図々しいやつだ。世田谷村はいつの間にか車が四台になった。グラウンド・フロアーの考え方を変えなければならぬなコレでは。世田谷村市場の野菜シリーズは面白く展開できるかも知れない。照明器具マスカットはあつという間に売れてしまった。と言ってもたった三つだけだ。たった三つだけの商品なんだから。そして三つしか作らない商品でもある。この野菜市場を先ず三〇商品までそろえてみる。それから先の方針はその結果を見てから決めれば良いだろう。

四月二五日

「世田谷村市場」

椅子、子供コーナー、ゴミ箱、食器、シンク、台所収納、床下収納、収納BOX、棚等の生活用品

住宅の架構、ヘイ、門、インターフォン、郵便受、等の生活用品
開放系技術のすすめ。

ガイドブック作り。と平行して進める。

世田谷村新聞はホームページからの要約で有料。

世田谷村市場はホームページで生活用品の情報と販売。

世田谷村日記は石山の考え方の展開を知ってもらうための道具というコミュニケーションの系をデザインする。

午前中渡辺さん夫妻来村。杉並の家の細かなつめを打ち合わせる。屋上菜園に生ゴミを埋め、しばしの休息。二三時まで打ち合わせ。開放系技術の考え方による住宅（オープン・テック・ハウス）の展開が少しづつ進んでいるのが救いだ。

四月二六日

七時半起床。今日は九時半から大学会議に始まりズーツと大学で雑用。夜は唐桑町の佐藤和則町長と会食の予定。午前大学院講義。午後GA杉田インタビュー。杉田は成長したな。M1ミーティング。丹羽平山とホームページの相談。M1インマーマン、パウハウス大学長と電話で、これからのパウハウス大学とのコラボレーションに関して話す。もちろん前向きにやってゆく。グライダーとも話ししなければならぬのは勿論の事だ。夕方明和会会長来室。明治通りコンヴァージョンの件。フジTVより渡辺邸取材の依頼あり、私は嫌だが渡辺さんの判断にお任せしよう。TVは、特に民放は何が映し出されても馬鹿馬鹿しく視てしまうような気がするから嫌いだ。と言って時折馬鹿面してそれを見ている自分も居るのだけれどね。

二〇時過 佐藤和則唐桑町長と会う。気仙沼市との合併問題で

頭を痛めている最中だ。ワザワザ会いに来てくれたらしい。光栄である。八十八年唐桑臨海劇場以来の付き合いであるが、日本の田舎の困難さをかいくくりながら彼は一まわり大きくなった。私みたいな単なるインテリゲンちゃんとは違う現実と対面し続けているからだ。久し振りに良い酒を飲んだ。二十四時頃世田谷村に帰る。唐桑を久し振りに訪ねてみたい気がするね。唐桑で八十八年から四年間やった劇場作りを中心とした運動を振り返ってみれば、不良青年、不良中年達のレジスタンスだったんだと思う。そこで養われた気分が町長になっても和則に単純に合併に走らせぬ何ものかを養わせたのである。

四月二七日

世間は今日から連休に入るらしい。朝八時屋上菜園に上がり生ゴミを埋める。風がチョット冷たい。今日は本を読む時間がありそうだ。十一時過杉並渡辺邸現場へ。今日は現場見学会で参加者が三〇名弱集まっている。人数が多過ぎて二日に分けたらしい。明日も又、三〇名程の参加者があるようだ。見学に集まった学生達には庭のテラスの基礎を作る穴掘りをしてもらった。皆一生懸命やっていた。福井から学生が来ていたのは驚いた。藤塚から山本夏彦さんが入院していて、つい最近退院したのを聞く。周りが皆バタバタ倒れてゆく感がある。他は大丈夫なんだろうな。夜檜垣と食事。これからのことを話す。

そつだN棟の二軍を現場に駆り出そう。

四月二八日 日曜日

連休中の地下室メンバーのスケジュールを昨夜決めた。本当は休みを休むようじゃ見込みはないんだけど、だって設計なんて

面白くって毎日が休日みたいなもんじゃないの。設計デザインは高度で複雑な遊びなんだよ。

鳥山センターで園芸市が開かれていて行ってみる。レモンの木しそ、バジル、朝顔、にがりり等沢山買い込んで来た。昼前屋上に早速植える。午後杉並渡辺邸現場へ、今日も沢山の見学体験者の参加があった。不思議だねこういう動きは。皆何を求めようとしているのかな。二日目という事もあったのだろう。参加者が昨日より自然に現場にとけ込んでいた。子供達、自分のコーナー作りにいそしんでいた。仲々いいぞ。フジTVの女性が一人でカメラを振りまわして頑張っているが、私は関係ない。なるべく写らない様に逃げた。イヤなものはイヤなのだ。WBワークシヨップの学生達がいぶ来ていたようだ。

静かでおだやかな夕暮れ。世田谷村の3階からの眺めは典型的な世田谷区の住宅地の風景なのだろうが、こういうところからどんな新しい抒情や、それに裏付けられた哲学思想が生まれるのだろうか。生み得るのか。自信ネエーよ。旅に病んで夢は枯野をかけ巡る。芭蕉の句だが、佐藤健の今はそんなところだろう。阿弥陀の道第四回今日掲載されていて読むも、少しばかり文章に乱れがあり心配だ。

こんなおだやかな夕暮れに、底知れぬ絶望と闘っている人間達がいる。

四月二九日

午前中屋上菜園の手入れ。昨日植えた朝顔がもうツルを棒に巻き付けようとしている。西洋朝顔の生命力は凄いもんだな。頑張りれ和風朝顔。午後、ベシー菅原正二、坂田明、結城登美雄と電話で話す。坂田明は無事退院したらしい。見舞いに行ってみよう

か。夜、NHKTVの樹海特集に出てやがんの。倒れた奴がピン
ピンで映像に写ってる。現代だね。日経連載コラム書く。「唐桑
臨海劇場」一九八八年から数年間のアノ体験はそろそろ客観的に
書きとめておく時期になったのかも知れない。